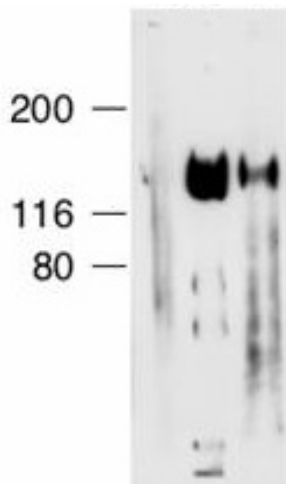


## 抗 ラット Podocalyxin ポリクローナル抗体

Podocalyxin は糸球体上皮細胞の主要なシアロタンパクで、糸球体上皮中に存在するシアル酸のほとんどを含有しています。また、Podocalyxin は濾過障の開放に働き、Na(+)/H(+)-exchanger regulatory factor 2 (NHERF2) やエズリン、アクチンなどとの相互作用によって、足突起形態の維持にも関与しています。

本抗体は、ラット Podocalyxin 細胞内ドメイン中の部分ペプチドを免疫原として作製しました。細胞内ドメインは種間で保存されていますので、様々な種における糸球体上皮細胞障害の解析などに有用であると考えられます。

容量	25 $\mu$ g (100 $\mu$ L/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッケーアス(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	-20℃以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4℃で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	ラット Podocalyxin の部分ペプチドを免疫して得られたウサギの抗血清より、ペプチドアフィニティーカラムにて精製。
使用濃度	ウェスタンブロットティング: 2~5 $\mu$ g/mL 免疫蛍光染色: 10 $\mu$ g/mL



### ウェスタンブロットティング

Sample : 各 200 $\mu$ g/lane

ラット肝臓 lysate (Negative control)

ラット腎臓 lysate

ラット心臓 lysate

提供:

新潟大学 大学院

医歯学総合研究科 機能分子医学講座

竹田 徹朗 先生

同 内部環境医学講座

下条 文武 先生

## 抗 ラット Podocalyxin ポリクローナル抗体

### 【参考文献】

1. Takeda T. et al. : J Clin Invest 2001 Jul;108(2):289-301
2. Kerjaschki D. et al. : Am J Pathol 1985 Mar;118(3):343-9
3. Kerjaschki D. et al. : J Cell Biol 1984;98:1591-6

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp